

第11回ワークショップ「労働力不足に対応する建築施工支援技術の現状と展望」

近年、建築現場では労働力不足や作業員の高齢化が大きな問題になっている。自動化・ロボット化はその解決手段の一つとして期待されている。クラウドやIoT (Internet of Things)に代表される情報化社会の発展と共に、建築施工現場ではロボット、AI、AR、ドローンなど新しい技術が提案、開発され、現場導入も始まっている。

本ワークショップでは、現在実施されている建築施工における自動化・ロボット化・情報化技術の現状を紹介し、建築生産における労働力不足への対応や諸問題などを解決する手段を見出し、今後の展望や現場における有効性を議論することを目的とする。

主催：材料施工委員会 建築生産運営委員会 CA技術小委員会

日時：2018年3月13日（火）13：30～16：30

会場：建築会館会議室（東京都港区芝 5-26-20）

プログラム

I. 開会の辞

II. 施工会社が取り組む技術開発の紹介（3編：60分）

（1）「検査システムと連動させた杭施工管理」竹内啓五（清水建設技術研究所）

（2）「当社のロボット技術開発の取り組み（T-iROBOシリーズ）」名合牧人（大成建設）

（3）「掘削土砂定量供給装置による地下掘削土砂の搬出効率改善（仮）」

大峰秀之（東急建設）

III. 導入を目指す自動化、ロボット化技術について（3編：60分）

（1）「カラートラッキングを用いた能動制御システムの研究」鈴木信也（戸田建設）

（2）「清掃作業を省力化する自律走行かき集めロボット（TOギャザー）」

永田幸平（竹中工務店）

（3）「高効率型の外壁検査システムの開発（その2システムの改良と適用結果）」

土井 暁（大林組）

IV. パネルディスカッション

「労働力不足を解決する自動化・ロボット化開発とは」（全体：60分）

（1）話題提供「最近の自動化・ロボット技術について」（10分） 蔡 成浩（鹿島建設）

（2）討 論（各発表：30分） 司会：井上 文宏（湘南工科大学）」

パネラー：・浜田耕史（大林組）／前田純一郎（国際建設技術情報研究所）

・眞方山美穂（国総研）／坂本眞一（清水建設）／三輪明宏（戸田建設）

（3）会場との討論（20分）

V. 閉会の辞

定員：70名（定員に達した場合はお断りの方にご連絡します。）

参加費：会員1,500円、会員外2,500円、学生1,000円

申込方法：Web申込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=613339>

よりお申し込みください。

問合わせ：日本建築学会事務局 事業グループ 浜田 hamada@aij.or.jp